

～第5回奄美保健医療圏地域医療構想調整会議の開催結果について～

- ・開催日時 令和2年2月12日（水）午後6時45分～午後8時30分
- ・開催場所 大島支庁4階大会議室
- ・出席者 25名（代理出席3名を含む）、欠席者 なし
- ・傍聴者 15名（随行者5名を含む）

※質疑、意見等は抜粋

## 1 報告事項

### （1）今後の地域医療構想調整会議の進め方について

資料1-1, 1-2, 1-3, 1-4を用いて、地域医療構想策定の背景や概要及び今後の地域医療構想調整会議の進め方について説明した。

### （2）平成30年度病床機能報告制度集計結果（速報値）について

資料2に基づき、平成30年度病床機能報告制度集計結果（速報値）の概要等について報告した。

### （3）鹿児島県外来医療計画（案）及び鹿児島県医師確保計画（案）について

資料3-1, 3-2, 3-3により、鹿児島県外来医療計画（案）及び鹿児島県医師確保計画（案）について説明した。

#### <意見>

- ・外来医療計画について、記載されている数字と実態が異なる。小児科医師数とかもう少し実態に即したデータであるべきではないか。
- ・子どもが入院する時、本土は車で行けるが、離島からだと家族皆が行かなければならない。経済的にも仕事の面でも大変な負担である。地理的に本土と絶対的な違いがあるということをこの計画にどのように入れていくかが重要であると思う。

### （4）重点支援区域について

資料4により、重点支援区域について説明した。

## 2 協議

### （1）令和7（2025）年に向けた対応方針について

圏域内7か所の徳洲会病院（名瀬徳洲会病院、笠利病院、瀬戸内徳洲会病院、喜界徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院）の対応方針について、名瀬徳洲会病院長 松浦委員より説明あり。

#### <要旨>

病院機能の維持、強化に向けて、診療報酬や社会的ニーズを視野において回復期病床や介護医療院等への転換を含む病院の役割を離島7病院全体で検討を進めていきたい。

## <意見>

介護医療院等への転換に係る介護保険料への影響について

- ・ 基本的には病院経営が成り立って、なおかつ島の医療機関として存続するのであれば、町として最大限の協力をする。
- ・ 介護保険料が上がることを非常に心配しているところ。関係自治体とも一緒になって考えていくべきだと思う。

名瀬徳洲会病院，喜界徳洲会病院長を除く5病院の対応方針については，本調整会議で合意された。今後，開設者の変更を含め，構想区域において担うべき医療機関としての役割や機能を大きく変更する場合等，見直す必要が生じた場合には再度本調整会議での協議となる。

## (2) その他

特になし

## 3 その他

県立大島病院 石神委員からの発言

- ・ 奄美本島では急性期のリハビリができない状況にあるため，病床機能の転換も視野に入れて検討している。

今後，具体的な内容が明らかになった時点で，改めて専門部会，調整会議で協議することになった。